

## 1. 出発前の準備、出発後の手続き

### ・留学の目的

親元を離れ、異国の地で一人生活しながら勉学に励むことで、社会に対する自らの見識を広め、また異国の学生の姿勢を目で見て学ぶため。および、それに付随する語学力の向上と専門知識の獲得。一方、学外の活動として、音楽の本場であるドイツでのオーケストラ活動、現地でのインターンシップをすることも目的としていました。

### ・学習計画

前半の Semester で Tandem と語学コースを基にドイツ語能力を伸ばす。それと並行し、英語で専門科目の講義を受講。そして、後半の Semester でインターンシップをしながら講義を受講するという計画を立てました。

### ・入学許可申請

商学部の公募から応募し、学内での面接試験を通じての入学許可申請となりました。面接試験通過後、商学部を通じて申請が行われ、最後に現地大学から直接自宅へと入学許可証が送付されました。

### ・外国語能力

-ドイツ語検定 2 級

留学に必要とされるのは 3 級程度ですが、私は、大学 2 年次 6 月に 3 級と併願で 2 級に挑戦しました。2 級の勉強は大変になるので挑戦してみるのも大切だと思います。

-英語 : TOEIC 750

私はドイツ語での留学だったので出願時に TOEIC は提出しませんでした。ただ、英語での授業を履修する予定でいたので、留学前は上級英語を履修して英語力の強化を図りました。ただ、実際に現地で授業を受けた際、私の英語力は正直足りていないと実感しました。留学に必要とされるのは TOEFL iBT 80 程度ですが、その程度の英語力は必然的に求められるものと考えられます。

### ・留学費用、奨学金

留学費用は両親からの出資、各種奨学金の交付を受けることで賄いました。奨学金につきましては、日本学生支援機構第二種奨学金、明治大学外国留学奨励助成金、その他学内の奨学金という構成です。

明治大学外国留学奨励助成金 : <http://www.meiji.ac.jp/cip/usefulinfo/jyosei.html>

### ・健康保険

ドイツへ留学する学生は、現地の保険会社と契約することが義務付けられています。現地の主要な保険会社は AOK(<http://www.aok-on.de/>)と TK(<http://www.tk.de/>)です。私は日本からメールを送り TK に申し込みましたが、現地の担当者の手違いで私のデータが記録されておらず、結局、現地で再び一から申し込みをすることとなりました。ただ、Semester 開始期に催される Newcomer Service/ Orientierungswoche 期間内に改めて保険加入の案内を受けるので、現

地で一から申し込みをすることも可能です。保険料の支払いは月額払いか半期払いを選択できます。

## ・住民登録、ビザ

### -住民登録

Bürgeramt Bremen Bürger Service Center-Mitte で手続き。あらかじめ、滞在先（寮）の住所・その管理人の名前をメモした上で、パスポートを持ってそこへ行きます。そこで書類を受け取り、必要事項を記載します。朝早めに行くと、その日のうちに手続きできるようになる可能性が高まるのでお勧めです。

### -ビザ

Universität Zentralbereich 駅から徒歩数分の場所にある bremen\_service universität(通称 bsu)内で手続き。受付でビザの申請をしたい旨を伝え、必要書類を提示すると書類を受け取れます。それを記入したものを提出し、100 ユーロを支払います。後日メールでビザの受け取りについての連絡を受けた後、ビザを取得し完了となります。bsu は営業時間が限定されているため、事前に営業時間を確認した上で、朝早めに行く方がいいと思います。

必要書類：パスポート、所得証明関係書類、入学許可証明書、保険証あるいは保険加入証明書、4.5×3.5 程度のサイズの証明写真。

この所得証明関係書類（Verpflichtungserklärung zur Vorlage bei Grenz-und Ausländerbehörden：入国審査及び外国人局へ提出のための経費負担書）は、あらかじめ日本にあるドイツ大使館に出向いて取りに行かねばなりません。こちらは早めの準備が必要です。

日本国籍者の長期ドイツ滞在の為の手引き：

<http://www.japan.diplo.de/contentblob/3615408/Daten/3817626/VisaJapaner.pdf>

## ・銀行手続き

Sparkasse で銀行口座を開設するのが便利です。ドイツ国内に支店が多く存在するため、お金の引き出しに便利です。またキャッシュカードには debit 機能がついているため、Maestro 加盟店では、現金がなくともそのキャッシュカードで買い物ができます。

窓口のある銀行の支店に行き、口座を開設したい旨を伝えると、パスポートの提示を求められます。その後、書類を作成し記載事項を確認したら終了です。後日、PIN コードの同封された手紙、キャッシュカードが同封された手紙の2通が届きます。その両方を受け取り再び支店へ赴くと、カードを有効にしてもらえます。それが済めばすべての手続き完了です。

## ・在留届

現地に到着したら在留届を提出する必要があります。直接ハンブルクの大使館に提出することもできますが、ORRnet(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>)を利用しインターネット上で行うことができます。また、帰国後に同サイト上で帰国届も提出する必要があります。

## 2. 協定校での諸手続き

セメスターの開始時に、新規留学生向けに Newcomer Service/ Orientierungswoche 期間が用意されています。そこで履修登録方法の説明や各種手続きの説明を受けます。健康保険の申し込み、StudienAusweis(学生証)の受け取り、Semesterticket(定期券)の購入、組合費の支払いなどもそこで済ませます。ただ、期間前にブレーメンに到着した場合は、個別にその手続きを行うことができます。

履修登録の種類は3種類あります。語学コース、Incoming Students用の授業(英語での授業)、そして一般の授業(主にドイツ語での授業)です。語学コースは、専用の書類に受講したい語学コースを記入した上で提出します。英語での授業は、インターネット上の専用サイトで早い者勝ちで履修登録します。また、ドイツ語での授業は、自らシラバスを確認した上で履修したい授業を選択し担当の方に連絡します。

### 3. 宿舎と日常生活

私は Galileo Residenz (<http://www.galileoresidenz.de/home/>) という寮で生活をしていました。国籍、年代の異なる9人で共同生活をする寮でした。ブレーメン大学に隣接しているものの、私たちが通うブレーメン経済工科大学からは若干遠いという立地です。しかし、周りは静かで、同居人との交流も楽しくできる良い寮でした。夏には正面の庭で BBQ をしたり、週末には各国の食事を料理し合うというパーティをしたりと楽しい時間を過ごしました。

また、寮を探す方法として、ブレーメン経済工科大学が提供する into-room というサイトがあります。それを基に、付近に空き部屋を持つ大家さんと直接連絡をして決めることができます。

生活については、ユーロ高の影響はあったものの、物価もそれほど高くなく、また必要なものは基本的に手に入るので不自由することはありませんでした。また、週末には Tandem などを通じて仲良くなった現地の学生と飲みや遊び、旅行に行ったりします。さらに、毎週水曜日にはオーケストラの練習に参加していたので、勉強と余暇と、メリハリのきいた充実した生活を送ることができました。

### 4. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果

#### ・協定校のカリキュラム・履修した授業

先述の通り、我々留学生在が履修できる授業は3種類あります。語学コース、Incoming Students用の授業(英語での授業)、そして一般の授業(主にドイツ語での授業)です。語学コースでは英語・ドイツ語だけでなく、フランス語、韓国語など他にも様々な語学を履修できます。英語での授業は、元々学生のために設置されている授業に留学生在が参加するという形式、留學生向けに用意された授業との二つの形式があります。そして、ドイツ語での授業は基本的に現地学生のみが履修する授業です。個別に申し出ることで受講が可能となります。以下、私が履修した授業一覧です。

Deutsch B2.1, International Marketing, International Economic Relations, Strategic Management, Deutsch C1/ Präsentation und Kommunikation, Logistics/ Operations Management, Internationales und interkulturelles Management, Cross Cultural Communication

#### ・課外活動

##### -オーケストラ活動

毎週水曜日にブレーメン大学のオーケストラ(<http://www.orchester.uni-bremen.de/>)の練習に参加していました。セメスターの末毎に演奏会があり、それに向けて練習していました。また、そのメンバーの方々とサッカー観戦に行ったり、お宅を訪問して一緒に楽器を弾いたりしました。

##### -語学学校

夏期休暇のうちの1週間を利用して、ハンブルクにある English Language Institute へ通いました。短期間集中でビジネス英語の勉強ができます。

([http://www.english-language-institute.de/home/index\\_home.html](http://www.english-language-institute.de/home/index_home.html))

また、私は利用しませんでした。が、ブレーメンやハンブルクなどの Goethe Institute でドイツ語の夏期集中コースなどに参加することができます。特に、ブレーメンの学生であれば割引が利用できる。ので夏期休暇の過ごし方の一つとしてお勧めです。休暇中に Goethe Zertifikat の試験も受けることができます。( <http://www.goethe.de/ins/de/ort/bre/kur/deindex.htm> )

#### ・ インターンシップ (Praktikum)

留学前からの計画通り、ドイツ語の上達と職業経験を積むことを目的に現地でのインターンシップに挑戦しました。インターンシップ先を探す際は、現地の日本語の先生や、以前ブレーメン経済工科大学に留学し同様にインターンシップをした先輩からお話を伺いました。また同時に、インターネットや本を利用し自身の興味に合う企業を探しました。そして最終的に ECOS Consult という企業を見つけました。

志望先企業によって異なりますが、私が応募する際必要となった書類は以下のものです。履歴書 (Lebenslauf)、願書 (Bewerbungsschreiben)、成績証明書 (高校卒業証明書) (Schulzeugnis)、成績表 (Universitätszeugnis)、語学能力証明書 (Sprachzertifikate)。成績証明書は日本語と英語のものを、成績表は日本とドイツの大学のものを、語学能力証明書は独検と TOEIC のスコアを提出しました。私は履歴書と願書をドイツ語で書きましたが、企業によっては同時に英語での提出も求められることもあります。書類通過後、面接試験を経て11月中旬から1月末までのインターンシップの権利をいただきました。職場の公用語はドイツ語でした。私が主に任された業務は、日本語・ドイツ語・英語を用いた翻訳業務、そして日本の市場調査でした。ドイツ語能力を伸ばすとともに、ドイツ企業のワークスタイルの一端を知ることができたと感じています。

#### ・ 留学の成果

この留学を通じ当初の目的はほぼ達成することができました。その中でも特に、文化的な価値観を見て感じる事ができたのは大きな成果といえます。現地で親しくなった学生は、自国文化に精通し、常に目的意識を持って勉学に励み、様々なことに興味を持っています。また、ドイツ人は自分のリズムに合わせたメリハリのきいた生活を送っています。そのような学生と接するうちに、私も日本文化を始め様々なことに自然と関心を持つようになり、生活スタイルもドイツ人のそれに馴染んでいきました。ドイツでの生活は勉学への取り組み方、様々な物事へ関心を持つことの大切さ、そして、勉学と同時に余暇の時間を大切にするという精神を私に与えてくれました。余暇の時間を大切にすることで自らと向き合う時間ができ、落ち着いて物事をよく考えることができます。この考え方は今後も大切にしていきたいと思っています。

### 5. 帰国準備と帰国後の手続き

郵便局で小包を日本へ送ることができます。距離の関係で日本への輸送料は若干高くなりますが、教材などをまとめて送る際には便利です。

帰国2週間ほど前から各種解約手続きをしました。住居の引き払い、住民登録解除、保険解約、銀行口座解除です。住居の引き払いは、基本的に帰国3か月前までに管理人に部屋を引き払うという旨を伝えておく必要があります。住民登録解除は、住民登録をしたときと同じ場所で行います。その際予約を取ることと、パスポートの持参が必要となります。保険解約には、住民登録解除証明書 (Meldebestätigung Abmeldung)、除籍手続証明書

(Exmatrikulationsbescheinigung) が必要となります。書類を持って直接本社に赴くか、メールでデータを送付することで解約手続きができます。詳しくは保険会社に直接お問い合わせください。銀行口座の解約はパスポートを持参することでその場で済ませられます。帰国後は、帰国届、帰国報告書の提出、単位認定書類の提出を行いました。

## 6. 商学部学生へのメッセージ

私が留学を決意した理由は3つです。

- ・入学後の留学説明会への参加  
当初の興味は薄かったのですが、説明会を通して次第に異国への興味を募らせました。
- ・入学後に始めたドイツ語の勉強  
ドイツ語の勉強が楽しく、さらにその能力を伸ばしたいと思うようになりました。
- ・ドイツにいる様々な国からの留学生との交流  
様々な国からの学生と交流を図ることができます。それにより、自らの知見を広げることができると考えました。

そして、実際に私が留学を通して大変印象に残ったことは3つです。

- ・ヨーロッパの荘厳な建築物  
休暇期間には近郊諸国へ簡単に旅行でき、様々な建築物や景色を見ることができます。
- ・ドイツ人の、他人の困難の際にはいかなるときも親身になって対応する気質  
友人はもちろん、街中でさまよっていたり、何か問題に遭遇した時は、知らない人でも声をかけて助けてくれます。
- ・余暇の時間も大切にしているドイツ人の生活スタイル  
平日は勉強とインターンシップ、金曜の夜や週末はパーティやディスコ。オンオフ、メリハリの効いた規則正しくもゆったりとした生活を私は特別気に入りました。

留学中できることに限界はありません。挑戦しようという心構えと姿勢があれば、日本ではなしえない様々なことに取り組むことができます。自らに限界を設けず、何事にも果敢に挑戦し、より多くのものを得て帰ってきてください。